



今日は患者さんの急変についてお話ししましょう。

とある病院で日曜日救急外来の仕事をしていました。

めまい、嘔吐を主訴に五十代の女性が夫に連れられてやってきました。

「とりあえずめまいの点滴をしましょう。」と点滴を行いました。やがて点滴も終了し、「お薬を出しておきますのでお帰りください。」という段になって患者さんが急変し、

血圧が低下し、意識がなくなり、ショック状態となりました。急いで患者さんを救急処置室に移し、血圧を維持する治療

を行い、原因を調べるに腹腔内出血によるものと判断しました。(出血は肝臓の血管奇形が破綻したものと後日判明)

患者さんの夫は「何でこんな状態になったんや。」という感じで御立腹でありましたが、大病院に救急搬送し、

大量輸血と血管の破綻した所を止血することにより救命できたのであります。

この様に、患者さんの状況が治療中に急変することは時々あります。

それに対して患者さんや家族の納得が得られない事もあります。

そればかりか、いくら正しい治療をしていても、治療内容が間違っていたから状態が急変したのだと言われることさえあります。

これが現実であります。こういった中でも患者さんのために治療を行っていくのが医師の使命であると考え、

これからも研鑽努力していこうと思ふ次第であります。

院長 西村 幸



いわゆる「減塩」と記載されている食品には、ナトリウム(塩)の摂取を減らすために、カリウムの含有量を高くしているものもあります。心臓障害の予防のための摂取制限のある方は注意が必要です。

また「うまみ調味料」は、グルタミン酸ナトリウムなどを成分としていて、1gあたりほぼ120mgのナトリウムが含まれ食塩では0.3gとなります。

カリウムを多く含む野菜や果物の摂取でナトリウムの代謝を促し排泄を増やすこととなりますので、バランスのよい食事をとることが大切です。

毎日の食事に意識的に野菜のメニューを増やし、野菜がたくさん並ぶ食卓の習慣をつける事も大切であると思っています。 管理栄養士 西村 陸

編集後記

ほったらかしの紫陽花が
毎年満開に咲く様子に
強さを感じ感動しています
土の状態で花の色を変え
声なき声が聞こえるようです



今日は音楽を紹介したいと思います。amazarashi 『無題』この曲はアパートで暮らす画家の青年とその恋人のストーリーになっています。彼女と支え合い絵を描き続けて、そして彼の絵は人々に評価始めされました。彼はもっと素晴らしい絵を書きたいと題材に選んだのは「人間のあさましい本性」でした。彼にとって最高傑作でしたが人々には受け入れられませんでした。それから行き詰まってしまい彼女と喧嘩がふえて別れしてしまいます。彼の絵を評価していた人々も次第にいなくなり彼は一人で絵を描き続けていました。そんなある日、久々に売れた絵。「信じていたこと、正しかった」という手紙が送られてきた。それは彼女からの手紙でした。雑な説明ですがこんな感じのストーリーです(笑) 2010年にミニアルバム『爆弾の作り方』で発売された当時MVがあったかもしれないけどCDしか聴いたことがありませんでした。しかし去年発売された『千分の一夜物語』でリメイクされた音源が収録され、さらにMVが公開されました。音源から頭の中でストーリーを再生するのがたのしかったのになんでMV作ったん(-_-)そんな文句を言いつつYoutubeを開いたのですがこれがまた素敵でした……。カラフルですごく可愛い絵で虜になりました。(この続きはホームページで♡)